

八王子市こども科学館 新型コロナウイルス感染症の対応について

非常事態宣言が5月 25 日に解除され、さらに東京アラートの解除がなされたことに伴い、7月1日から一部の利用を再開することとなった。

今後は、新型コロナウイルス感染症への感染リスクの低減を図りながら、科学館の運営をする必要がある。当館の再開館にあたっての対応内容は以下のとおりである。

1. 来館者への対応

- (1) 入館時に検温を行い、発熱(37.5℃以上)や体調不良(咳、咽頭痛などの症状)がある場合は入館をお断りする。
- (2) 環境へのウイルス放出の可能性を下げるため、マスクの着用を求める。
- (3) 入館時に手指の消毒や洗浄を求める。(入口に足ふみ式の消毒用アルコールを設置する)
- (4) 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国、地域への訪問歴がある場合は入場をお断りする。
- (5) 氏名、住所、連絡先電話番号を聞き取りあるいは記載していただき、1か月間保管するとともに、入館者に感染者が発生した場合には必要に応じて保健所等の公的機関に情報を提供する。

2. 職員の対応

- (1) 出勤時に検温を実施し、健康管理表に記載するとともに、37.5℃以上の熱が記録された場合は、受診を促し、健康管理シートを作成する。
- (2) 発熱のほか咳、呼吸困難、味覚・臭覚障害等の症状がある場合は、自宅待機とする。
- (3) マスク及びフェイスシールド、必要に応じて使い捨て手袋を装着し、対応する。ただし、ドーム内での解説は星の視認に支障があるため、マスクのみ着用する。
- (4) 職員の緊急連絡先を把握し、直ちに連絡が取れる体制を構築する。

3. 施設管理上の対応

- (1) 清掃、消毒、換気を徹底的に実施する。
- (2) 館内入り口及びプラネタリウム入り口に行列が生じる場合、1m以上の間隔を開けた整列を促す。
- (3) 展示物のほとんどがハンズオン(直接手で触れることができる展示物)であることから、当面は展示室の利用は不可とする。
- (4) プラネタリウムの利用のみとする。あわせて、観覧者数を制限の上、入替制とし、座席の前後を1m以上の間隔を開けての着席とする。
- (5) 飲食については当面禁止とする。ただし、熱中症対策としての飲料は可能。

- (6) プラネタリウムの投影後は、扉を開放してドーム内の換気を行う。また、座席のひじ掛け、座面の消毒を行う。
- (7) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- (8) 便座消毒用として、トイレ内にアルコール消毒ポンプを配置する。
- (9) 手洗い・手指消毒、咳チケットなどの啓発物を掲示する。
- (10) 券売機の発行ボタンは、職員が押して発券する。

以上の対策を取りながら、感染拡大防止に努め、利用できる業務の範囲を漸次拡大していく。

※令和 2 年7月1日時点の内容です。今後、状況に応じて変更することがあります。